

平成30年度 生産性向上支援訓練利用者の声

東芝機械協力協同組合

- ・所在地：静岡県沼津市
- ・会員企業数：53社

<利用した訓練>

- ・訓練コース名「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」
- ・訓練実施時期 平成30年4月



事務局長 大門さま



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部
静岡職業能力開発促進センター
ポリテクセンター静岡



<事業主団体の声>

Q: 訓練を利用したきっかけについて、教えてください。

A: 当組合は、大手製造業の協力企業で構成された異業種団体です。当組合から協力企業に対して「予算指示の構造」についてお伝えしているところで、最近では、大手・中堅企業からの発注形態が「部品単体発注」から「ユニット発注」に変わってきている背景からも、企業の改善活動と従業員教育の重要性は増しており、今後さらに高いレベルの企業を目指していくことが求められています。その中で、組合では協力企業に対してレベルアップを図る目的で研修を実施しています。このため、オーダーメイドでありながらリーズナブルな生産性向上支援訓練の利用を決めました。

Q: 訓練を利用した感想と、現場でどのように活用されているか、お聞かせください。

A: 訓練を利用した感想として、受講者及び事業主から「現場での問題解決について、複数の意見を持ち寄ることの有効性を、演習を通して実感できた。」「ムダの排除や5Sの具体的な手法が学べてよかった。」「従業員の中に、仕事に対する責任やムダを少なくしようとする意識が醸成できた。」等の意見を受け、これからも生産性向上支援訓練を利用することで、各企業のレベルアップに繋がると感じました。また、組合独自に訓練実施後受講生に対し「私の行動宣言」を記載させ、3ヵ月後実行できたかの確認を実施しております。教育に対してまだまだ協力企業でバラツキがありますので、組合が中心となり教育を考えていき、協力企業が発展していくことを期待しています

不二運輸株式会社

- ・所在地: 静岡県沼津市
- ・従業員数: 200人
- ・事業内容: 運輸業(物流)

<利用した訓練>

- ・訓練コース名「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」
- ・訓練実施時期 平成30年4月



代表取締役社長 鈴木さま



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部
静岡職業能力開発促進センター
ポリテクセンター静岡



<事業主の声>

Q: 訓練を利用したきっかけについて、教えてください。

A: 東芝機械協力(協)の関連業者は製造業、物流といった様々な業態がありますが、その中で当社は製造に係る物流を担っています。いわゆる当社は大手製造業の射出成型1,000種類の部品を管理しており、製造担当等から部品の請求があれば部品を揃え製造に回します。その後製品が出来れば輸送し、取付まで一貫して当社が請け負っております。当社従業員が部品の管理をしていることから製造の事も知らなくてはなりません。また、1,000種類ある部品をムダ・ムリなく揃える事ができ、改善点も提案する必要となることから利用を決めました。

Q: 訓練を利用した感想と、現場でどのように活用されているか、お聞かせください。

A: 今回の訓練で、製造業等他社の方と交流ができ、製造の事をより一層理解が深めたことが良かったです。現状職場では成果がまだまだのようですが、現状いろいろ考えながら取り組んでいるように感じました。今後当社としては、ロジスティクスカンパニーを目指して取り組んでいくためにも人材育成は欠かせないので、次年度上級編の訓練につなげたいと考えています。

<受講者の声>

Q: 訓練を受講した感想と今後の抱負をお聞かせください。

A: 今回受講して仕事の見方が変わりました。訓練で現状分析、ムダの発見の演習で各個人の意見を聞き、色々な考え方見方が解ったことです。それにより仕事をするうえでコミュニケーションがいかに大切かを認識できました。私は不二運輸従業員ですが、現在は大手製造会社の中で部品の管理をしており、その中で整理整頓をすることでムダを発見しやすくなったり、ムダ・ムリに気づき効率よく仕事ができるようになってきました。また仲間とコミュニケーションをとることでよりムダ・ムリを発見しやすくなり生産性向上につなげていると感じています。今後もこの訓練で学んだことを生かし、職場で改善できる場所を改善していきたいです。改善活動はすぐに変化は出ないと思いますが、長期的に活用していき、次回問題解決につながるような訓練も受講していきたい。



受講者 杉山さま